



アーツ前橋 滞在制作事業

群馬県にゆかりのあるアーティスト

【募集要項】

募集期間：2021年8月20日（金）～9月25日（土）

※当日消印有効

公募の概要について

■ 概要・目的

アーツ前橋では、前橋市での滞在制作を希望する、群馬県にゆかりのあるアーティストを募集します。

アーツ前橋は、2013年10月の開館前よりアーティストによる滞在制作を実施しており、開館後の2014年から中心市街地の空きビルをスタジオ兼滞在場所として改修し、本格的に滞在制作を開始しました。国内外からアーティストを招聘するとともに、2015年より群馬県にゆかりのあるアーティストを対象に公募を始めました。地元での作品制作に必要な空間と時間を提供し、招聘されたアーティストには、滞在制作の制作発表として、感染症対策を講じながら最低1回のパブリックプログラム（展示、トーク、ワークショップなど形式は問いません）を行ってまいります。また、アーツ前橋の滞在制作では、完成した作品だけでなく、滞在中に作品として実現するまでに至らなかったが、新たな経験や考える時間をもつことで生まれた作品のアイデアも重要視しています。滞在中の活動や生まれた作品、アイデアなどを様々な人と共有することで、地域における文化芸術の振興を目指します。

■ 応募受付期間

2021年8月20日（金）～9月25日（土） ※当日消印有効

■ 招聘人数及び招聘時期

2022年1月10日（月）～2月14日（月）の間の20日～30日
1名または1組

※招聘アーティスト決定後に調整して最終決定します。

■ 応募対象分野

群馬県にゆかりのあるアーティストであれば、表現の分野は問いません（アート、ダンス、音楽、映像、工芸、詩 など）。

応募資格について

- (1) 群馬県にゆかりがあるアーティストであること。また、現在群馬県内に在住の方でも応募可能です。(群馬県ゆかり：群馬県出身、群馬県内の大学を卒業など)
- (2) 応募要項に同意し、事業開始から終了まで責任を持って行えること。
- (3) 期間中、前橋市に滞在できること。
- (4) 広く芸術分野で活動している個人またはグループであること。
- (5) 滞在期間初期に簡易的な活動紹介をアーツ前橋のスタッフ向けに行うこと。
- (6) 滞在期間中に滞在制作の成果発表として、最低1回はパブリックプログラムを行うこと(ワークショップ、公開制作、展示、トーク、オンラインなど手法は問いませんが、感染症対策を考慮の上、担当学芸員と相談のもと決定します)。
- (7) 滞在期間中に実現に至らなかった作品やプロジェクトのアイデアを担当学芸員と共有すること。(アイデアの著作権はアーティストに帰属します)。
- (8) 健康状態が良好であること。
- (9) 性別、年齢、国籍は問いません。

サポートについて

■ 活動費の支給

交通費または渡航費、滞在中の生活費、作品制作費、作品郵送費など、全ての制作活動に関わる経費を含みます。宿泊に関しては、アーツ前橋の滞在制作施設「豎町スタジオ」を無料（光熱水費、インターネット費も無料）でご利用いただけます。

活動費：200,000円

※ グループでの応募であっても、上記の金額となります。

※ 活動費はパブリックプログラム終了後にお支払いいたします。

■ スタジオ及び宿泊場所の提供

前橋中心市街地の空きビルを改装した「豎町スタジオ」にて、制作及び宿泊をしていただきます（使用料は無料です）。

なお、豎町スタジオは前橋中心市街地の居住地に位置しているため、大きな音やにおい、危険物を使う作業はできません。

※ 図面や写真などの詳細は別紙「TatsumachiStudio_01.pdf」をご参照下さい。

■ 制作のための工具など

制作に必要な工具などは原則持参してください。

■ 滞在制作についての広報

滞在中の活動をアーツ前橋 WEB サイトや SNS などを通じて発信します。

応募方法について

■ 応募の流れと提出書類、添付資料

提出していただく書類は、規定の応募用紙と添付資料の2点です。

① 応募用紙（必須）

アーツ前橋ホームページより、「応募用紙」をダウンロードし、必要事項を日本語で記入してください。

② 添付資料（必須）

下記の添付資料のうち、これまでの活動内容が解るものを同封してください。お送り頂いた資料は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

- ・ 過去の活動などをまとめたポートフォリオ（20ページ以内）
- ・ 過去に出品した展覧会の図録など
- ・ 音声（CDで提出してください。なお、5分を超える映像は、5分以内にまとめたものもあわせて提出してください。）
- ・ 映像（DVDで提出してください。なお、5分を超える映像は、5分以内にまとめたものをあわせて提出してください。）

③ 応募方法

応募用紙、添付資料を同封のうえ、下記まで郵送もしくは持参にて 9月25日（土） ※当日消印有効で提出してください。なお、E-mail や FAX での提出、締め切りを過ぎた書類は受理できませんので、ご了承ください。

アーツ前橋 滞在制作事業担当者 宛
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16

選考、通知について

■ 選考

提出いただいた応募用紙をもとに、下記の審査員による審査を行い決定します。

【審査員】※50音順

片山真理（アーティスト）

1987年群馬県出身。2012年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。自らの身体を模した手縫いのオブジェ、ペインティング、コラージュのほか、それらの作品を用いて細部まで演出を施したセルフポートレートなど、多彩な作品を制作。

アーティストとしての活動に留まらず、歌手、モデル、講演、執筆など、幅広く活動している。主な展示に2019年「第58回ヴェネチア・ビエンナーレ」（ヴェネチア、イタリア）、「Broken Heart」（White Rainbow, ロンドン, イギリス）、2017年「無垢と経験の写真 日本の新進作家 vol.14」（東京都写真美術館、東京）、主な出版物に2019年『GIFT』United Vagabondsがある。2019年第35回写真の町東川賞新人作家賞、2020年第45回木村伊兵衛写真賞を受賞。

帆足亜紀（横浜美術館国際グループ兼学芸グループ グループ長／横浜トリエンナーレ組織委員会事務局副委員長補佐）

1994年、シティ大学（ロンドン）にて博物館・美術館運営修士号取得後、フリーとなり、国際交流基金のアジア地域の美術交流事業（1997～2010年）やニッセイ基礎研究所のパブリックアート事業（2000～2002年）のコーディネーター、アーカスプロジェクト（アーティスト・イン・レジデンス）のディレクター（2003～2007年）を務める。2010年より横浜トリエンナーレ組織委員会事務局の一員となり、第4回（2011年）～第7回（2020年）の横浜トリエンナーレの企画運営に携わる。2016年より横浜美術館に所属。通訳・翻訳も手がける。

山重徹夫（中之条ビエンナーレ総合ディレクター）

1975年広島県生まれ。多摩美術大学を卒業後、都内デザイン会社でアートディレクターを務める。独立後は専門学校の講師やプランナーなどを経て、個人デザイン事務所を設立。多くの企業でクリエイティブチームに参加し、テレビ番組や広告からアプリケーション開発などの幅広いメディアでデザインワークを担当。

2006年より地域独自の視点から芸術文化を発信することを目的に、中之条ビエンナー

しを立ち上げ、総合ディレクターを務める。その後、クリエイティブコミュニケーションセンター tsumuji をプロデュースし、地域特性を活かした商品デザインやイベント企画などを展開。現在は総合的な地域ブランディングや海外芸術交流をはじめとするアートプロジェクトや海外の美術館で展覧会の企画など、各地で文化振興事業を行っている。

■ 通知

選考結果は10月下旬ごろに、応募者全員に応募用紙に記載いただいたアドレス宛にメールでお知らせします。また、選考通過者の発表は11月中にアーツ前橋ウェブサイトにて発表いたします。

その他

■ 権利規定・広報など

- ・ 滞在中に制作した作品の著作権及び所有権は、アーティストに帰属します。
- ・ 制作風景や作品など主催者が記録した写真及び映像などは、アーツ前橋に帰属します。
- ・ 写真や映像をアーツ前橋が使用し、他媒体に貸し出しをすることがあります。
- ・ マスコミ各社からの取材には、ご協力をお願いします。
- ・ アーツ前橋は、本プログラムにおけるアーティストの作品及び活動状況の一部を写真及びビデオで記録し、広報などに活用します。
- ・ コロナウイルス感染症対策のため、状況によっては滞在時に検温やPCR検査をお願いする場合があります。
- ・ 滞在中の不要不急の県外への移動は、原則ご遠慮ください。

■ 問い合わせ

ご不明な点があれば、下記までメールにてご連絡ください。

アーツ前橋（担当：塚田、池上）

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16

Email: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp